

2019年2月5日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長グループ COO  
 里 見 治 紀  
 (コード番号 6460 東証第一部)  
 問 合 せ 先 上席執行役員財務経理本部長  
 大 脇 洋 一  
 (電話番号 03-6864-2400)

通期業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。また、2019年3月期第3四半期決算において、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失として計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり 当期純利益又は 当期純損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 390,000	百万円 21,000	百万円 16,000	百万円 12,000	円銭 51.20
今回発表予想(B)	337,000	13,000	7,500	△1,500	△6.40
増減額(B-A)	△53,000	△8,000	△8,500	△13,500	△57.60
増減率(%)	△13.6	△38.1	△53.1	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	323,664	17,720	14,578	8,930	38.10

■修正の理由

エンタテインメントコンテンツ事業のデジタルゲーム分野においては、国内モバイルゲーム市場の競争環境が激化する中、運営長期化に伴い当社の既存主力タイトルは減衰傾向にあります。当期は、新作タイトルの投入による収益拡大を目指してまいりましたが、新作タイトルの投入時期が遅延したことや投入したタイトルが期待値を下回ったことなどから、既存主力タイトルの減衰を補うには至らない見込みです。デジタルゲーム分野以外のエンタテインメントコンテンツ事業は、パッケージゲーム分野を中心に概ね前回予想を上回って推移しておりますが、デジタルゲーム分野の収益低下を補うには至らず、エンタテインメントコンテンツ事業の売上高・営業利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

遊技機事業においては、型式試験における適合の取得が想定を下回ったことを主因に、販売タイトル数・販売台数が当初の計画を下回る見込みとなり、営業費用の抑制に取り組みましたが、売上高・営業利益は前回発表予想を下回る見込みです。

また、次項のとおり減損損失を計上したことから、2019年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

なお、配当につきましては、期末配当20円(年間配当40円)から変更はございません。

(参考情報：セグメント別内訳)

2019年3月期通期業績予想

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	390,000	337,000	△53,000
		遊技機事業	122,000	102,000	△20,000
		エンタテインメント コンテンツ事業	258,000	224,500	△33,500
		リゾート事業	10,000	10,500	500
営業利益	内訳	合計	21,000	13,000	△8,000
		遊技機事業	18,500	14,000	△4,500
		エンタテインメント コンテンツ事業	13,500	9,700	△3,800
		リゾート事業	△3,000	△2,800	200
		その他/消去等	△8,000	△7,900	100

## 2. 減損損失の計上

当社の連結子会社である株式会社セガゲームス及びその連結子会社が保有するデジタルゲーム分野の固定資産の一部について、2019年3月期第3四半期決算において減損損失6,108百万円を特別損失に計上することといたしました。

## 3. 今後の取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業においては、IP軸での事業展開を加速させ、当社グループが保有するIP群の価値を最大化させるとともに積極的に外部IPを活用し、収益拡大に向けて取り組んでまいります。デジタルゲーム分野においては、収益拡大傾向にあるパッケージゲーム分野との組織統合・再編等を通じて、リソースの有効活用や開発管理の精度向上を図るとともに、デジタルゲーム分野におけるタイトル数等の精査を行い、開発・運営規模の適正化を進め収益改善を図ってまいります。また、デジタルゲーム分野についてはIP展開の重要チャンネルの一つとして、引き続き事業展開を進めてまいります。

遊技機事業においては、新規則・新内規に適応したタイトルの供給を本格化させるべく、適合率の向上及び魅力的なタイトルの供給を進め、販売台数の拡大ならびに市場の活性化に取り組んでまいります。また、引き続きコスト改善等の効率化を進めて収益性の向上を図ってまいります。

2017年5月に公表した中期事業戦略「Road to 2020」の最終年度となる2020年3月期の業績見通しについては、上記の取り組みを踏まえて、2019年3月期本決算と合わせて公表する予定です。

※本資料内に記載した数値や業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上